

## 阿倍野駅(地下鉄谷町線)①

# 阿倍野から安倍晴明神社へ

阿倍野駅・東天下茶屋駅(阪堺電車上町線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その1 No.036



### 地下鉄阿倍野駅

#### ① 阿倍野区民センター

谷町線阿倍野駅から東へ300メートルほど入ったところに松長神社の小さな祠がありますが、ここが古代の阿倍氏の氏寺・阿倍寺跡と推定されています。阿倍野区民センターには阿倍寺跡の出土品や阿倍野筋遺跡から発掘された漁具などが展示されています。古墳時代、このあたりは海に近い集落がありました。

#### ② 阿倍野墓地

江戸時代には千日前に刑場・火葬場・墓地がありましたが、明治7年(1874)、ここ天王寺村埋葬地に移されました。その後、火葬場(斎場)は瓜破霊園に移されましたが、大阪市設南霊園として、五代友厚や関一など大阪の政財界の縁故者が多数埋葬されています。



#### ③ 上町台地の西の崖

阿倍野墓地の西側を行くと、そこは切り出した崖路のようになっていて、西側は崖下に低く建物が連なっています。この崖が上町断層であるといわれて、南へ住吉大社の方に向かっていきます。

#### ④ 吉田兼好遺跡

『徒然草』の作者・吉田兼好は阿倍野に住んでいた時期がありました。丸山古墳のふもとに小さな庵を編んで、縄やむしろを織って生計を立てていたそうです。藁わらを打った石が聖天さんの階段下にあります。

#### ⑤ 正圓寺(天下茶屋聖天)

元禄年間にここへ移され、西に海を一望できることから「海照山正圓寺」と名づけられました。本尊は大聖歡喜天で、天下茶屋の聖天さんと親しまれています。聖天山は標高14メートルの古墳です。

#### ⑥ 伊東静雄文学碑

伊東静雄は長崎県諫早市に生まれた詩人です。旧住吉高校に国語の教師として赴任し、戦後まで20年間、大阪で創作活動をおこないました。この地は好んで散策をした場所です。

#### ⑦ 松虫塚

明治以前はこのあたりは原野で、

松虫(いまの鈴虫)の鳴き声で名所になっていました。その鳴き声を聞きに原野に入った旅人が帰らぬ人となったという謡曲「松虫」の舞台です。樹齢800年といわれる榎とともに住民の保存運動で松虫塚が残されました。



#### ⑧ 安倍晴明神社

平安時代に陰陽師として活躍した安倍晴明あべのみらの生誕地とされ、寛弘4年(1007)、その死を悼んだ花山上皇の命で創建されました。境内に産湯の井戸や白狐を母とする「葛之葉伝説」などが紹介されています。

阪堺電車東天下茶屋駅

